

## 第1問 解説

- 問1 抗体は免疫グロブリンであるが、文章の流れから抗体のみを答えとした。
- 問2 DNAやRNAはヌクレオチドが基本単位であるが、DNAの五炭糖がデオキシリボースで、RNAはリボースである。
- 問3 生物基礎の範囲であるが、DNAが遺伝子の本体であることを示したのが、細菌を用いたエイブリーのS型菌やR型菌の肺炎双球菌の実験と、ウイルスを用いたハーシー・チェイスのT<sub>2</sub>ファージ(バクテリオファージ)の実験である。残りの人名と実験(研究)内容も一致できるようにしておくこと(ジャコブとモノー→オペロン説、メセルソンとスタール→半保存的複製の証明、ワトソンとクリック→DNAの二重らせん構造の解明や半保存的複製の提唱、ビードル・テータム→一遺伝子一酵素説)
- 問4 アナフィラキシーショックを、単にアナフィラキシーと呼ぶ場合もあるのでアナフィラキシーでも正解とする。
- 問5 動画にて解説をしています。
- 問6 採点のポイントは4つ。①ワクチンが弱毒化した抗原や無毒化した抗原であること。②接種により免疫記憶(免疫記憶細胞)が形成されること。③インフルエンザウイルスに感染した時が二次応答であること(短時間で多量の抗体ができること)。④さらに、感染しても発症を抑えることができたり、または、症状を軽減できること。